

読者のひろば



読者の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。

11 月上旬、小学校の運動会がありました。4年ぶりにおじいちゃん、おばあちゃんも出席できて楽しい一日を過ごすことができました。1年生の「おどる玉入れ」ととてもかわいかったです。6年生の全員の組体操とても素晴らしいかったです。80代の私達夫婦は、子ども達から元気をもらい健康で100歳を目指し、毎日を通じたいと思います。(K・Hさん・女性)

コロナ禍により様々な行事等が中止または縮小され、窮屈な生活が続きました。感染症の位置付けが5類へと移行し、コロナ禍前の活気を取り戻しつつありますが、この自粛期間は想像以上にストレスとなりました。やはり、みんなが笑顔で気兼ねなくおしゃべりできる環境こそが、一番の健康の秘訣だと気付かされました。人とのつながりや絆を再認識したことが、コロナ禍がもたらした唯一の救いだったかもしれせん。

鹿 屋に転居してもうすぐ4年になります。車を所有してないので、路線バス、くるりんバスは私にとって大事な足となる交通手段です。実情は大変なんです。運転手の方も高齢な方が多い気がします。バスに乗って外の景色を見たり、バス停から歩いて散策してみたりと楽しんでいきます。これからも利用して新たな発見をします。(I・Sさん・女性)

鉄道がない本市は、路線バスが唯一の公共交通機関です。運転手不足が想定される2024年問題もあり、地域交通はまさに大きな「転換期」にあります。買い物や病院へ行ったり、通学に使ったりとバスはなくてはならないものです。「生活の足」を守るためにも、たまにはバスに乗ってみてはどうでしょう。いつも見ている街並みや景色も、ちよつと違った風景に見えてくるかもしれません。

11 つも楽しく読んでいます。「鳥獣戦線」のコーナー、とても興味深くじっくり読みました。全国ニュースでは、熊の被害が報道される中、身近な所でも農作物や市民を守るため、猟友会の方々の取り組みを知ることができました！毎月新たな発見があり、広報かのやを読むことが楽しみになっています。(C・Sさん・女性)

農林水産省によると、令和4年度の全国の鳥獣被害額は約156億円にものぼるそうです。鳥獣対策は、①寄せ付けない ②侵入を防止する ③個体数を減らすの3本の柱が基本と言われています。日頃、自分たちができることは、畑や家の庭に野菜や食べられる木の実を放置しないこと、鳥獣が近付いてきたときには口ケツト花火等の道具を使って追い払うこと、電気柵やワイヤーメッシュ柵を設置して柵の不具合が無いか日頃から点検を欠かさず、鳥獣の侵入を防ぐことが大事です。それでも鳥獣による被害が減らない場合には、猟友会の方々に鳥獣を捕獲してもらえよう出動をお願いすることになります。「有害鳥獣対策」はあります。地域の皆さんで協力し合って、人間と動物、どちらも住みやすい環境を作っていきましよう。

13 年ぶりに大隅半島に住んで早4か月。広報かのやを見たり、色々な所に遊びに行くたびに、大隅の歴史や知らないイベント、お祭りなど楽しんでいると同時に何で今まで知らなかったんだろう？となります。もつと知りたい、楽しみたいという気持ちです。転勤で来たので、期間限定の鹿屋生活めいっぱい楽しみたいです。(ちーちゃんママさん・女性)

鹿屋ライフを楽しんでいただいている声を聞き、とてもうれしく思います。「知りたい」という気持ちは人間の根源的欲求で、知らないという欠乏状態を満たそうと心が動くことが「好奇心」であるそうです。鹿屋には、すごい！楽しい！面白い！がまだまだたくさんあります。広報かのやはこれからも皆さんの「知りたい気持ち」の助けになるような情報をお届けします。



フォトネタ！
吾平中央消防会館シャッター
吾平方面隊消防団の活性化などを目的に、NPO法人パーシーの尾上亮太理事長と分団員が一緒になって吾平中央消防会館シャッターにイラストを制作しました。